



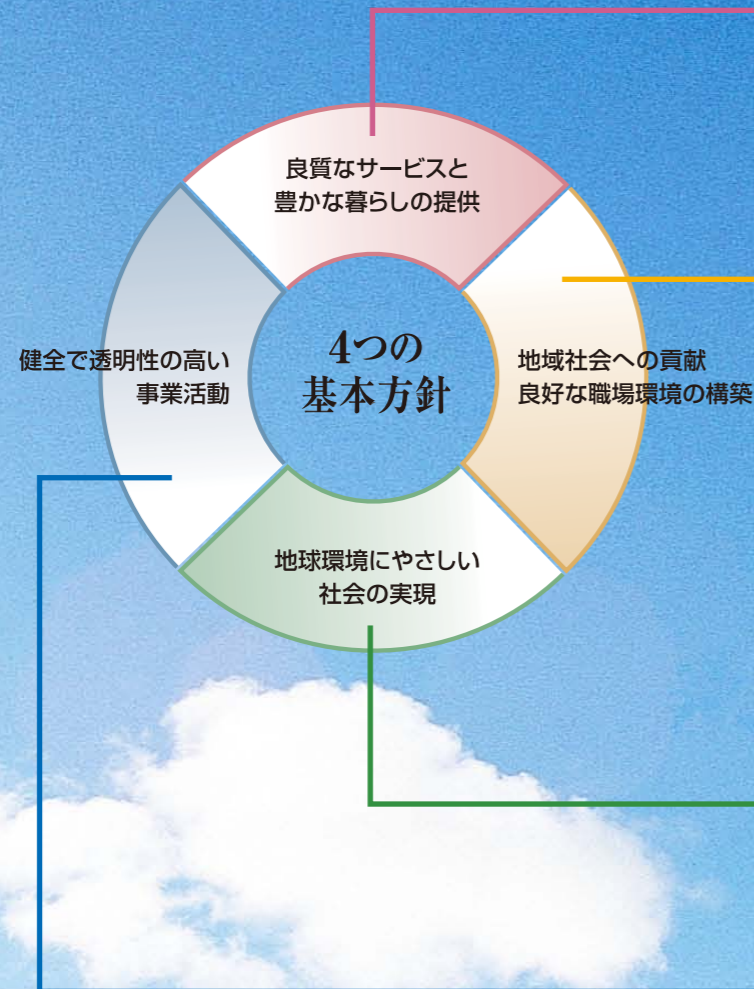
CSRレポート
2010

CSR REPORT 2010

www.leopalace21.co.jp

CSR宣言

私たちは、企業市民として、お客様をはじめ、あらゆるステークホルダーのご期待に応え、共に発展することを目指すとともに、持続可能な社会づくりに貢献します。



目次

01 CSR宣言／4つの基本方針

02 目次

03 社長メッセージ

人々と社会のニーズ・ご期待に正しくお応えできたとき、当社は企業として成長し、CSRも真に充実したものとなります。



05 地域社会への貢献

企業市民として積極的な社会貢献活動に参加することを通じて、地域社会の発展に貢献しています。



11 良好な職場環境の構築

社員が持てる能力を発揮できる職場環境づくりと、より多くの方への社会参加機会の提供に努めています。



13 良質なサービスと豊かな暮らしの提供

新しいライフスタイルの提案を通じて、お客様に安全、安心、快適な暮らしをご提供します。



17 地球環境にやさしい社会の実現

事業活動が地球環境に与える影響の大きさを認識し、企業活動の全域で環境負荷の低減を図っています。



21 健全で透明性の高い事業活動

社会に対する説明責任を果たすため、健全で透明性の高い事業活動を行っています。



25 おわりに

私たちの企業風土の中にCSR意識が着実に芽吹き、育ちつつあること、それが何より重要です。



26 企業概要



人々と社会のニーズ・ご期待に正しくお応えできたとき、 当社は企業として成長し、CSRも真に充実したものとなります。

皆様には、日頃より当社にご理解、ご支援をたまり、厚く御礼申し上げます。

私が生まれましたのは、昭和32年（1957年）。折しも、東京都が都市人口世界一になった年のことでした。

その後、高度経済成長期を受けて会社や工場が次々と作られる中、若い世代を中心に人口は都心に集中。東京都は、昭和37年（1962年）には世界初の千万都市となり、平成12年（2000年）の人口は1,200万人に達しました。

昭和60年（1985年）に本格的な販売を開始した都市型アパート「レオパレス21」は、こうした都市部にお住まいの方々——特に、若い世代の方々に対し、便利で快適な住まいをご提供するために開発したものです。住まいを“機能”としてご提供し、便利で快適なひとり暮らしを応援する「レオパレス21」は、その後、全国各地で多くのお客様にご利用いただけるようになりました（賃貸事業）。

一方、日本の方々の個人資産の大半は土地となっております。オーナー様がその土地を次世代に遺していくためには、土地を有効活用し、収益を生み出すことが必要です。「レオパレス21」は、こうしたオーナー様にとっての資産活用手段としても、お役に立ってまいりました（請負事業）。

当社における私の経歴は、昭和52年（1977年）の入社以来33年となりますが、その大半を賃貸事業の現場で過ごし、「レオパレス21」が多くのお客様のお役に立つさまを拝見し、それ

を最大の喜びとして、事業に取り組んでまいりました。

一方、そうした中で、「レオパレス21」が果たす役割、お客様から求められる役割が、時代とともに変化していることにも気づきました。たとえば、平成14年（2002年）以降の景気回復局面では、企業のコスト削減志向の強さを受けて手薄となった住宅支援策を補完する形で、「レオパレス21」は社宅や独身寮などとしてもご利用いただけるようになりました。この結果、個人のお客様だけではなく、現在は法人のご利用者様も増加しております。

需要の高い土地に、必要とされる住まいを建てて、お貸しする。住む人と貸す人、双方の需要を高い次元で満たす。それが当社のビジネスモデルの基本であり、事業そのものが持つ社会的意義（CSR）です。

そして、当社が人と住まい、そして、その方々の生活に関わる“問題解決策”を提供する事業を営む以上、私たちが事業を通じて皆様にご提供する価値、すなわち、「事業を通じたCSR」の活動内容も、人々の生活や社会、時代の変化に応じて常に変わっていかねばなりません。

先にご説明いたしました法人のお客様へのご利用拡大などはその例であり、このように人々と社会のニーズ・ご期待に正しくお応えできたとき、当社は企業として成長し、CSRも真に充実したものとなる——私はそう信じております。

今、事業環境の大きな変化を受けて、

当社の事業も転換の時を迎えています。CSRの側面からこの意味を考えますと、私たちは今、皆様が何を当社に求めておられるのかを真摯に見つめ、自らを振り返る時期が来ているものであると理解できます。

このような観点から、2009年度のCSR活動につきましては、活動を拡大するという方向ではなく、役職員一人ひとりのコンプライアンス意識向上や、最も息の長いCSR活動である清掃活動への注力など、地道な活動が中心となっております。

私たちは1年に1回、この「CSRレポート」を通じて、ありのままのCSR活動の現状とその考え方を皆様にご報告し、皆様よりご意見やご指導を頂戴することこそが、私たちが果たすべき社会的責任とは何かを考え直し、私たち自身の意識を高め、CSR活動を継続的に進化させる何よりの近道と考えております。

皆様におかれましては、是非「CSRレポート2010」を最後までお読みいただき、忌憚のないご意見をお寄せいただけましたら幸いに存じます。

2010年6月
株式会社レオパレス21
代表取締役社長
深山 英世

「街をきれいに、街を笑顔に。」 レオパレス21の清掃活動は 大きく広がっています。

レオパレス21は、サッカーJリーグのオフィシャルスポンサーとして、「街をきれいに、街を笑顔に。」

ホームタウンみんなで清掃プロジェクトを実施いたしました。

このイベントは、ホームタウン地域の小学生の親子を招待し、地元の清掃活動を行い、

さらに親子でのサッカー教室を実施するというものです。

当社は、地域貢献とスポーツ振興の両面で社会に貢献できるこのイベントを、

2009年に9つのJ1クラブのホームタウンで実施いたしました。



千葉 (2009年10月18日)



大阪 (2009年7月26日)



千葉 (2009年10月18日)

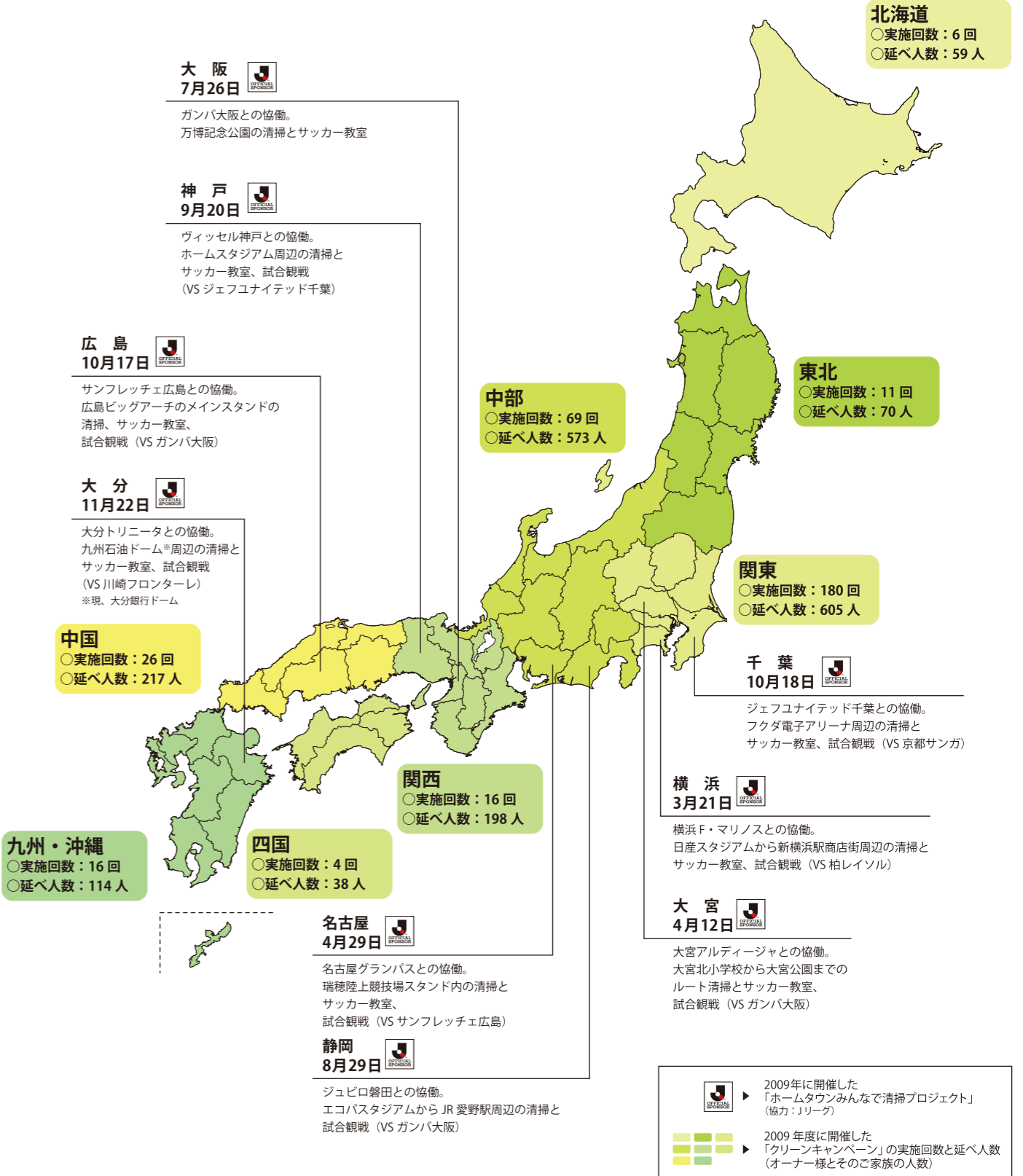


大阪 (2009年7月26日)

- 横浜 2009年3月21日 横浜F・マリノスとの協働。日産スタジアムから新横浜駅商店街周辺の清掃と、サッカー教室、試合観戦
- 大宮 2009年4月12日 大宮アルディージャとの協働。大宮北小学校から大宮公園までのルート清掃と同小学校でのサッカー教室、試合観戦
- 名古屋 2009年4月29日 名古屋グランパスとの協働。瑞穂陸上競技場スタンド内の清掃と、サッカー教室、試合観戦
- 大阪 2009年7月26日 ガンバ大阪との協働。万博記念公園内の清掃と、ガンバ大阪練習場でのサッカー教室
- 静岡 2009年8月29日 ジュビロ磐田との協働。エコパスタジアムからJR 愛野駅周辺の清掃と、エコパスタジアム補助競技場での試合観戦
- 神戸 2009年9月20日 ヴィッセル神戸との協働。ホームスタジアム周辺の清掃と同スタジアム芝生広場でのサッカー教室、試合観戦
- 広島 2009年10月17日 サンフレッチェ広島との協働。広島ビッグアーチのメインスタンド清掃と同スタジアムでのサッカー教室、試合観戦
- 千葉 2009年10月18日 ジェフユナイテッド千葉との協働。フクダ電子アリーナ周辺の清掃とフクダ電子スクエアでのサッカー教室、試合観戦
- 大分 2009年11月22日 大分トリニータとの協働。九州石油ドーム(現:大分銀行ドーム)周辺の清掃と同スタジアム芝生広場でのサッカー教室、試合観戦

地域社会に何をすべきなのか。
どうすれば貢献できるのか。
その答えを探すため、身近なことから活動を始めています。

当社の社員が行ってきた清掃活動は、2008年からはオーナー様とごご家族にご参加いただく活動へと発展し、大変多くの方にご協力いただいています。私たち自身はもちろん、事業のパートナーであるオーナー様や当社が支援するスポーツ選手など、さまざまな方々とともに活動を行うことで、より広範囲かつ多彩な地域貢献を実践しています。



2007

社員の地域奉仕活動としてスタート

全国各地にアパートを建設し、支店を設置するようになった私たちは、多くのオーナー様や入居者様、地域の方々とふれあう中で、地域のために何ができるか、どうすれば地域の皆様にもっと愛される存在となれるかを真剣に考えるようになりました。息長く続けるためには、すぐに取り組むことができる地道な活動が一番、と考えた私たちは、まずは、物件見学会の際に、物件の近くを清掃することから始め、その後、支店のまわりも定期的に清掃するようになりました。また、2009年4月1日には、新入社員が全員参加し、レオパレスリゾート内、タモン地区およびアガニア地区において清掃活動を実施しました。



タモンビーチでの清掃活動（2009年4月1日）



スペイン広場（グアム）での清掃活動（2009年4月1日）



Guam Chamber of Commerce
表彰トロフィー

2009年5月、当社の清掃活動に対してグアム政府より感謝状とトロフィーをいただきました。また、グアムの新聞や各メディアでも紹介されました。



2008

オーナー様とご家族の参加で活動が広がる （グリーンキャンペーン）

社員による清掃活動は、次第に街の方々、そしてオーナー様からもご関心をお寄せいただけるようになり、2008年からはオーナー様とご家族にもご参加いただく活動へと発展しました。これまでにご参加いただいた方は、2008年度4,687名、2009年度1,874名、合計6,561名となります。オーナー様には、清掃活動を通じて、ご自身の街への想いを新たにするとともに、お子さん、お孫さんとの交流を深めていただく良い機会にもなると、お喜びいただいています。



オーナー様を交えた清掃活動

2009

Jリーグと協働した清掃活動を実施 （ホームタウンみんなで清掃プロジェクト）

2009年には、サッカー Jリーグのオフィシャルスポンサーとして、「街をきれいに、街を笑顔に。」ホームタウンみんなで清掃プロジェクトを実施しました。このイベントは、ホームタウン地域の小学生の親子を招待し、地元の清掃活動と親子サッカー教室を実施するというものです。私たちは、地域貢献とスポーツ振興の両面で社会に貢献できるこのイベントを、2009年に9つの J1クラブのホームタウンで実施しました。



神戸（2009年9月20日）



大宮（2009年4月12日）



横浜（2009年3月21日）



広島（2009年10月17日）

レオパレス21 清掃活動の歩み

物件を見学に来る皆さんに、気持ちよく見ていただきたい——
そんな気持ちで社員が自主的に始めた清掃活動は、次第に活動の幅を広げ、
今では延べ46,988名*のご参加をいただくまでになりました。
ここでは、私たちの清掃活動の歩みをご紹介します。

*2008年度・2009年度のグリーンキャンペーン、2009年度のホームタウンみんなで清掃プロジェクト、建築現場周辺の清掃活動の参加者（延べ人数）合計

取引先企業のご協力を得ての清掃活動

2009年7月より建築現場周辺の清掃活動を全国で開始しました。参加するのは、建築部門社員と各建築現場で施工に携わる取引先企業の方々です。2010年4月までの10ヶ月間に、延べ6,196ヶ所の建築現場周辺で実施し、延べ39,162名が参加しました。今後も全国の現場で活動を続けていく予定です。



建築現場周辺の清掃活動



建築現場周辺の清掃活動

活動のテーマ 1

安全で住みよい地域社会づくりに貢献する

国内に55万戸超のお部屋と約200の事業所を持つ私たちのネットワークを、安心・安全で快適な街づくりの拠点にしていくこと。それが、私たちのCSR活動の基本です。

支店を「子ども110番」の拠点として登録

近年、子どもが事件に巻き込まれ、被害に遭うことが増えています。こうした犯罪の被害を防ぐため、地域の自治体やPTA、警察では、緊急時に子どもが助けを求められることができる民間の緊急避難拠点「子ども110番の家」を増やす活動を進めています。当社では、全国の支店の登録可能な場所すべてを「子ども110番の家」として登録し、地域の安全と安心に貢献しています。
(2010年3月末現在：144ヶ所)



レオバレスセンターでの掲示

アパートに防犯灯・防犯カメラを設置

当社の物件に安心してお住まいいただけるよう、オーナー様のご協力のもとで、防犯灯とLED ガーデンライトを併用した照明計画や防犯カメラの設置を進め、敷地内外の防犯性を高めています。

入居者が地域のルールを守れるようにお手伝い

忙しい生活の中では、入居者様もついごみ出し日を忘れがち。でもそれでは、ご近所の方々にご迷惑をおかけすることになってしまいます。私たちは、お部屋についているブロードバンドサービスを使ってごみ出し日をお知らせすることで、入居者様が地域のルールを守れるようにサポートしています。



「LEO-NET」上にて、棟毎のごみ出しカレンダーや粗大ゴミの連絡先などを配信



オーナー様を交えた清掃活動



活動のテーマ 2

パートナーの協力を得て活動を広げる

私たちは、社員はもちろん、事業のパートナーであるオーナー様や当社が支援するスポーツ選手など、様々な方々とともに活動することで、参加した方の意識を高め、地域貢献の輪をさらに広げています。



オーナー様参加の清掃活動 (クリーンキャンペーン)

当社の社員が行ってきた清掃活動は、2008年からはオーナー様とご家族にご参加いただく活動へと発展しています。2010年3月末現在、清掃にご参加いただいたオーナー様とご家族の延べ人数は、6,561名。オーナー様には、「家族や孫と一緒に体を動かし、話をする良い機会になる」とご好評いただいています。(P.8もご参照ください)

東京第4支店

社員の声

ゴミ拾いは自分のためにもなってます!

道路のゴミは8割がタバコの吸殻で、破片が散った様が一番の厄介者でした。改めてマナーについて考えさせられます。大きな袋がいっぱいになった時の達成感はなかなか爽快なものがあります。ゴミ拾いをきっかけに井戸端会議になったりと、普段お話しする機会のない方々とおしゃべりに花を咲かせるのも、密かな楽しみです。



スポーツ選手の参加協力を得ての清掃活動 (ホームタウンみんなで清掃プロジェクト)

Jリーグとの協働により、サッカー教室や試合観戦と組み合わせた地域清掃活動を実施しました。まずは、Jリーグの各チーム関係者やOBと一緒に清掃活動を行い、掃除のあとは親子サッカー教室やミニゲームを開催するとあって、子どもたちの参加も多く、大変喜ばれました。(P.5~6およびP.8もご参照ください)

取引先企業のご協力を得ての清掃活動

アパートの建築現場周辺では、施工に携わる取引先企業の方々とともに清掃活動を進めています。(P.8もご参照ください)

エコキャップ回収箱



全支店で「エコキャップ」活動に参加

ペットボトルキャップは、焼却処分されればCO₂が発生するゴミですが、分別して集めれば資源となります。私たちは、全支店でペットボトルキャップ(エコキャップ)の回収を進め、NPO法人エコキャップ推進協会を通じて発展途上国の子どもの救済活動に貢献しています。
※キャップ400個で10円のポリオワクチン代が出来ます。ワクチン代は1人分20円。

広島支店

社員の声

エコキャップ、集めてます!

全社でエコキャップの回収を始めた2年前、初めてエコキャップがワクチンに変わることを知りました。オーナー様には、800個で1人分のワクチンが買えることをお伝えし、何人分のワクチンになったかを定期的に報告しました。その結果、広島支店で集めたエコキャップが345人分のワクチンになりました!これからはエコキャップの輪を広げていきます!



オーナー様の声

日頃、奉仕活動に縁遠い私にとって、良い経験でした。ゴミを拾いながらその多さに驚き、「人が物を捨てない心を自覚するには」を考えさせられた一日でした。



寄付や募金、献血活動に協力

当社自身はもちろん、社員やお客様、オーナー様にも呼びかけを行い、多くのご協力をいただいています。2009年度は、山口県や福岡県の豪雨、そしてチリで起きた震災被害者の方々への義援金のほか、赤い羽根共同募金や緑の募金などに参加しました。また、若い社員が多い当社ならではの活動として、献血にも力を入れています。2008年と2009年に本社において実施された団体献血には、計258名の社員が参加しました。

人事部 人材開発課

社員の声

団体献血に参加しました!

私は初めて団体献血に参加しました。多くの社員が積極的に参加する光景を見て、本当に素晴らしい活動だと思いました。会社がこのような取り組みをバックアップしていることは、一社員として非常に誇りであると感じています。



地域社会への貢献活動を進めています

私たちは、企業市民として積極的に社会貢献活動に参加することを通じて、社会の皆様とのコミュニケーションを深めるとともに地域社会の発展に貢献します。

障がい者の雇用促進を目的とした特例子会社「レオパレス・スマイル」がスタートしました!

働く人にも、そのご家族にもたくさんの笑顔を——そう願って名付けた株式会社レオパレス・スマイルでは、「社員が、立派な社会人として通用するように」との目標を掲げ、育成に力を入れています。2010年4月現在、16名が郵便の仕分けや廃棄が必要な文書の分類とシュレッター、ペットボトルキャップの分別・異物除去作業などの仕事をしています。

社員のお母様からのご挨拶

レオパレス・スマイルの1期生として、一同が揃って正社員になれたことが、とても嬉しくて夢のようです。短い研修期間で、よくここまで成長してくれたと思います。今ではまるで生まれ変わったように、そして今まで止まっていた時間を取り戻すかのように生き生きとしております。これからは会社のために少しでも役立てるように、また、1日でも長く働き続けることが、お世話になっている皆様へのご恩返しだと思っております。



レオパレス・スマイル設立披露会 (2009年11月25日)



郵便の仕分け作業



郵便の仕分け作業



シュレッター作業



レオパレス・スマイル社員

定量評価可能な実績

活動内容	実績	
	2008年度	2009年度
障がい者雇用率	1.57% (2009年3月)	1.82% (2010年3月)

特例子会社とは

通常の子会社従業員は親会社の雇用率に含まれませんが、一定の要件を満たし、特例子会社の認可を受けた場合、親会社の障がい者雇用率に加えることができます。障がい者の方々の、就労による自立を支援するために設けられた制度です。

良好な職場環境の構築

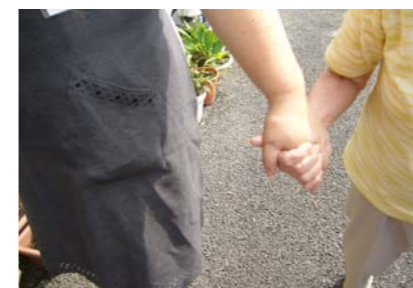
社員一人ひとりの個性を尊重し、社員の持っている能力を十分に発揮できる職場環境をつくるよう心がけています。また、より多くの方に社会参加の機会を提供する活動も進めています。

あずみ苑では、社会適応訓練事業の受け入れを行っています。

精神に障がいを持つ方の社会復帰を支援すべく、あずみ苑では、2009年度は、2名の方に対して延べ98日間、社会復帰のための支援を行いました。この事業は、訓練生とあずみ苑の職員の双方にとって気づきと学びの多いものとなっています。



訓練状況



訓練生から寄せられたコメント

私は社会適応訓練に入る以前に、特別養護老人ホームやデイサービスに勤めていました。当時のことを思い出しながら働いていますが、ご利用者様とコミュニケーションをとっていると、やはり温かい気持ちになれます。職員の方からの言葉も、時に厳しいこともありますが、私自身のために言ってくれていると思い、ありがたく感じています。今までの経験を活かして、これからも頑張りたいと思います。

職員から寄せられたコメント

このような事業のことを今回、自分たちが行うまでまったく知りませんでした。一緒に働きながら、社会復帰の支援も行えることにやりがいを感じています。

社会適応訓練事業とは

精神障がい者の方を対象として、都道府県が委託した協力事業所に一定期間通うことで、就労への意欲、仕事への集中力、持続力、人づきあいなどの能力向上を目指し、社会復帰を促進するものです。訓練期間は6ヶ月を単位として、最高3年間です。



あずみ苑館町職員

活動のテーマ 1

心身のコンディションや働く環境を整える

私たちは、従業員が健康に働き続けるための環境を整えるため、労働時間やメンタル面などのサポートを充実させています。

労働安全衛生法にもとづき、長時間労働社員を把握し、当該社員および責任者に対する時間短縮の指導や、社員に対する医師による面談の推奨と申込みの受付も行っています。さらに、社員とその家族は無料*で外部の専門機関からメンタルヘルスサポートのカウンセリングを受けられる制度も整えています。

*面談カウンセリングの場合は年5回まで無料。

活動のテーマ 2

多様な人材の活躍機会をつくる

私たちは、若い人材や女性、ご高齢の方々や障がいをお持ちの方など、多彩な人材がそれぞれの能力を発揮して活躍できるような環境づくりを進めています。



CAT 営業部社員

年齢や性別に関係なく活躍できる職場づくり

従業員の平均年齢が32.5歳(2010年4月現在)と大変若い当社にとって、社歴や性別にこだわらない社員の登用は当たり前のこと。意欲のある社員には積極的にチャレンジの機会を与え、成長を促しています。

レオパレスリゾートグアムではインターンシップ活動を継続

レオパレスリゾートグアムでは、2005年度より大学生や専門学校生のインターンシップ生を受け入れており、ホテルでの実務を通じた貴重な異文化体験や就労経験をいただいています。



拓殖大学ホームページに掲載された内容

定量評価可能な実績

活動内容	参加者数(校数)	実績	
		2008年度	2009年度
レオパレスリゾートグアムでのインターンシップ		30名(4校)	32名(5校)

2005年度からの累計：112名



お部屋探しが難しい方々を ご支援しています

情報満載の住宅情報誌に、インターネット。

お部屋探しは、ひとことと比べてずいぶん手軽に、便利になりました。

でも忘れてはならないのが、誰でもお部屋を借りられるわけではないということ。収入や保証人など、さまざまな「お部屋を借りるための条件」に合わない人でも可能な限りお部屋を借りられるようにすることは、私たちの使命だと考えています。

Case2

住宅支援制度を実施

2008年秋以降の世界的な金融危機は、解雇や雇止めなどの雇用状況の悪化をもたらし、こうした影響を受けた方々は入居していた社員寮等の住居からの退去を余儀なくされる事態が多く発生しました。レオパレス21は、雇用と住居という生活の基盤を同時になくしてしまった方々を支援する厚生労働省の「就職安定資金融資事業」に賛同し、住宅支援制度を立ち上げています。

営業企画部 営業企画課

社員の声

住居にお困りの方を支援します!

近年、雇止めや派遣切りに伴い、住まいを喪失してしまうことが大きな社会問題となっていますが、当社では、そういった状況の方にも住まいを提供できるよう、住宅支援制度という専用プランを用意し全国的に受入れを行っています。生活の基盤である、「住まい」を提供する企業として、住居にお困りの方への対応もできるよう、今後もサポートをしていきたいと考えております。



就職安定資金融資事業とは?

厚生労働省がハローワークを相談窓口として、全国的な拠点を有する非営利金融機関である労働金庫との連携により、住宅入居初期費用等の資金の貸付けを行い、住居と安定的な就労機会を円滑に確保できるよう支援するものです。

レオパレス21の 住宅支援制度の特長

- 派遣契約の中途解約や雇用の打ち切りなどで社員寮等の退去を余儀なくされお住まいにお困りの方々が、安心して就職活動に専念していただけるよう、生活支援金として契約金から1万円を割引し、住居をご提供しています。
- ご契約期間は、最短6ヶ月～最長8ヶ月間の定期建物賃貸借契約です。

定量評価可能な実績

活動内容	実績	実績	
		2008年度	2009年度
住宅支援制度の利用	利用室数	1,501室 (2009年3月末現在)	2,068室 (2010年3月末現在)

Case1

外国籍の方のお部屋探しを支援

日常のコミュニケーションに困るから、生活習慣の違いからお部屋をどんなふうに使われるか心配だから…。こうした理由で外国籍の方の入居を歓迎しない不動産業者や大家さんは少なくないため、外国籍の方のお部屋探しはとて大変です。レオパレス21では、こうした方々にご利用いただきやすいお部屋や契約条件、サポートサービスなどを整えています。

ご来日前

情報がどこで手に入るかわからない

来日する前にお部屋を決めておきたい。でも、どこで探せばいいのかさっぱりわからない…。

Q1

A1

お部屋探しからお申込みまでインターネットで楽々韓国、台湾、中国にはレオパレスセンターがあります

アジアから来日される方々の利便性を高めるため、韓国を皮切りに、台湾、中国にもレオパレスセンターを設け、国内同様にリアルタイムでのお部屋情報のご提供からお申込みまでのサービスをご提供しています。

ご来日後

言葉の問題でコミュニケーションがむずかしい

日本語でのコミュニケーションは難しい。特に、不動産の契約には難しい言葉や正確な理解が必要な内容が多いので、困ってしまう。

Q2

A2

「外国籍者専用レオパレスセンター」を設けています

「外国籍者専用レオパレスセンター」を、新宿・池袋・名古屋・大阪・福岡の5ヶ所に設置していますので、安心して契約いただけます。また、ご入居後の相談窓口として、「外国語サポートデスク」を設けています。

日本人の連帯保証人を要求されることが多い

やっとお部屋が見つかったも、契約するには「日本国籍の連帯保証人をつけてください」なんて…来日したばかりで友人もいないのに、誰に頼んだら良いのだろう。

Q3

A3

原則、連帯保証人は不要です

原則、日本国内にお住まいの方(国籍不問)と、母国のご親族を緊急連絡先としていただければ、ご契約できます。

※審査の結果、連帯保証人が必要になるケースもあります。

レオパレスセンター新宿店
海外課

社員の声

部屋探しで苦労した体験を活かしています!

私自身、11年前に来日した時は、日本語もわからず、部屋探しにも自分が言いたいことを伝えられないなどの点で大変苦労しました。特に保証人の面ではとても困ってしまった記憶があります。そんな私が今、レオパレス21の社員として、留学生のお客様のお部屋探しをお手伝いできるのはとても嬉しいことです。お客様からは、部屋探しのアドバイスや日本の生活習慣や進学などのご相談をいただくことが多いのですが、誠心誠意お答えするよう心がけています。外国籍の方のお住まいが一つでも多く見つかれば、そこで快適に暮らしていただくことは、11年前に私を受け入れてくれた日本に対してできる小さな貢献だと思っています。



留学生奨学金事業に賛同

日本国内に住む外国人留学生の数は現在13万人を超え、今後は、文部科学省が30万人を受け入れる計画を推進していることもあり、さらに増加することが予想されます。当社は、財団法人日本国際教育支援協会の実施する「冠留学生奨学金事業」に賛同し、2009年度は107名の留学生を支援させていただきました。今後住まいを提供する企業として、外国籍の方々にも利用しやすい住環境の整備に力を入れていきます。



レオパレスセンター
新宿店海外課



レオパレスセンター新宿店海外課

活動のテーマ 1

便利で快適な住まいをご用意

清潔な外観や快適な設備はもちろん、ライフスタイルに合った住まいや、安心・安全をご提供するセキュリティ設備やバリアフリー対応など、私たちは時代とお客様のニーズに合うお部屋をご提供し続けています。

ワンランク上のサービスをご提供

広めのお部屋面積やメゾネットタイプなど、ご家族でもお住まいいただける物件や、大家さんのお住まいとしても使える賃貸併用住宅など、時代とお客様のニーズに合わせた新しいタイプの住宅の開発とご提供を進めています。また、ビデオ・オン・デマンドも見られるブロードバンドサービスも導入しています。

安心・安全にも配慮

お部屋の安全を確保するため、テレビモニター付きインターホンやカードキーなどのセキュリティ設備を導入しています。また、ご高齢の方やお身体が不自由な方にも安全・快適にお住まいいただけるよう、バリアフリー対応物件の導入を進めています。

規格改訂された ISO9001 認証を取得

当社の建築事業部は 2008 年 12 月 24 日、品質管理規格 ISO9001（2008 年発行最新版）の認証を本社および全支店で一括取得しました。今後とも徹底した品質管理体制を維持し、お客様にご満足いただける商品をご提供し続けていきます。



LEONEXT シリーズ「LEPIDO」



テレビを使った快適ブロードバンドサービス「LEONET」



カードキー



モニター付きインターホン



ISO9001 認証書

良質なサービスと豊かな暮らしの提供

私たちは、新しいライフスタイルの提案を通じて、お客様に安全、安心、快適な暮らしをご提供します。

活動のテーマ 2

住まい探しの困難を軽減

「短期間だけの住まいを探したい」「お部屋探しや契約手続きの手間を軽減したい」といったご要望に加え、外国籍の方など保証人のご用意が難しい方のお部屋探しなどにも対応できる体制を整えています。

お部屋探しからお申込みまでインターネットで楽々

私たちのウェブサイトでは、外観や間取り、空室状況などお部屋に関する情報を随時更新し、お申込みまで行うことができるため、お忙しい方々や海外のお客様に大変喜ばれています。

多彩な契約プランをご用意

お支払いは、家賃を月々お支払いいただく方法、まとめて前払いする割安プランなど、お客様のニーズに合わせた様々なプランをご用意しています。また、最短 30 日からのご利用も可能ですので、長期出張や研修といったニーズにもお応えします。

アジアにもレオパレスセンターを展開中

海外から来日される方々の利便性を高めるため、国外では中国・韓国・台湾に、国内では新宿・池袋・名古屋・大阪・福岡に外国籍のお客様専用のレオパレスセンターを展開し、受け入れ体制を整えています。

住宅支援制度の実施

派遣契約の中途解約や雇用の打ち切りなどで現在お住まいの住居の退去を余儀なくされ、住まいにお困りの方に住まいをご提供する「レオパレス住宅支援制度」を実施しています。



レオパレス 21 の賃貸ウェブサイト TOP 画面 (<http://www.leopalace21.com/>)

活動のテーマ 3

入居後の安心もご提供

鍵の紛失や設備の不具合から急な病気・災害まで、ひとり暮らしの「困った!」をサポートするサービスからご高齢の方々が安心して暮らせる施設型サービスまで、安心して暮らせる環境のご提供に力を入れています。

サービスセンターが急なご連絡にも対応

全国 144 ヶ所 (2010 年 4 月末現在) の管理センターに加え、夜間の緊急コールに対応するため、サービスセンターでは 24 時間体制で全国からの電話を受け付けています。

入居後のサポートサービス

水まわりのトラブルなど、住まいのトラブルにお応えする住まいの現場急行サービス、カギを紛失した場合、無料でお取替えるカギの安心システム、健康に関するご相談を 24 時間受け付けている医療健康相談サービスなど、入居者様のご入居後の生活をサポートするサービスを、オプションでご提供しています。



大阪サービスセンター

社員の声

ひとり暮らしの安心をご提供します!

水まわりのトラブルなどが発生した時は、お客様の不安をできる限り早く解消し、トラブルを解決するため、迅速な対応を心掛けています。お客様から「ありがとう。またお願いしますね」と感謝のお言葉を頂くと、非常にやりがいを感じます。時には厳しいお声も頂きますが、お客様の為に改善できることを考え、日々サービス向上に努めています。



大阪サービスセンター

入居型・滞在型施設や介護サービスもご用意

首都圏を中心に 57 ヶ所ある「あずみ苑」では、入居型施設 (有料老人ホーム、グループホーム)、滞在型施設 (デイサービス、ショートステイ)、そして居宅介護支援や福祉用具のご提供などのさまざまなサービスを、およそ 58,000 人の方にご利用いただいています。(2010 年 3 月末現在)



あずみ苑職員とご利用者の皆様



当社が提供する施設における地球環境への配慮

2020年のCO₂排出削減目標を、1990年比で25%減少させる――

この目標を達成するには、住宅のCO₂排出を減らすことが欠かせません。

全国に55万戸超のお部屋を運営する企業の社会的責任として、私たちは、新エネルギーの導入と省エネルギーの推進に取り組んでいます。



新

エネルギーの導入

クリーンエネルギーの切り札、太陽光エネルギー

従来の火力発電などの発電方法と比べて、

CO₂排出量や石油消費を減らすことができるクリーンエネルギー。

その代表格のひとつとして注目を集めているのが、太陽光発電です。

太陽光発電には、こんなメリットが！

温室効果ガスの排出量を削減できます

発電時には燃料が不要で、運転中は温室効果ガスを排出しません。発電設備のメンテナンスや廃棄時に排出する温室効果ガスも、投入エネルギー量も比較的少ないという特長があります。

太陽光発電には、こんなメリットが！

エネルギーの自給率を向上させます

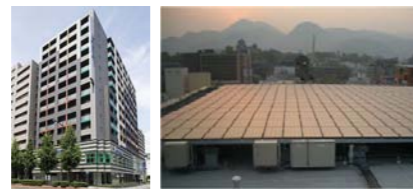
太陽光発電なら、運転用に燃料を輸入する必要はありません。また、太陽電池や周辺機器の製造に使用したエネルギーのおよそ10～30倍以上も大きなエネルギーを生み出すと言われていますので、エネルギーの自給率向上に貢献します。

「レオパレス21」でも、太陽光パネルの設置を開始しました！

当社でもフラット熊本とパラタイン中目黒の2ヶ所の屋根に太陽光パネルを試験的に設置し、実験を始めています。

フラット熊本

支店と賃貸物件が併用されているマンションタイプのフラット熊本では、13階建てに合わせ高所設置用高強度高出力太陽電池392枚、設置面積255.81㎡の太陽光パネルが設置されています。年間CO₂排出量を19.2トン、石油消費量換算で8,772リットル削減することが可能です。



パラタイン中目黒

東京・中目黒のデザイナーズ賃貸物件パラタイン中目黒の屋根に高出力太陽電池56枚、設置面積74.4㎡の太陽光パネルが設置されています。年間CO₂排出量を5.2トン、石油消費量換算で2,379リットル削減することが可能です。



	フラット熊本	パラタイン中目黒
システム容量	33kW	10kW
設置面積	255.81㎡	74.4㎡
年間発電量（予想）	34,535kWh	9,368kWh
年間CO ₂ 排出量削減効果	19,167kg	5,199kg
年間石油消費削減効果	8,772リットル	2,379リットル

省

エネルギーの推進

レオパレスが経営するホテルでも環境配慮活動を推進しています。

国内8つのレオパレスホテルズ、そしてレオパレスリゾートグアムで。私たちは、お客様のご協力のもとで環境配慮活動を進めています。

レオパレスホテルズ共通で行っている活動

国内8つのレオパレスホテルズ（旭川、札幌、仙台東口[※]、新潟、名古屋、四日市、岡山、博多）では、財団法人オイスカ（以下、オイスカ）を支援しています。アメニティグッズを使わない宿泊のお客様からフロントにエコグリーンカード（写真）をご提出いただくと、当社は、そのアメニティグッズの費用に一定割合を掛けた金額を、年2回オイスカに寄付します。2010年1月には、第1回の寄付として、活動を開始した2009年6月16日から12月末までの回収分23,964円を寄付しました。

※2010年7月1日オープン予定。



エコグリーンカード

オイスカとは？



オイスカとは、1961年に活動を開始した国際協力NGOで、主にアジア・太平洋地域で人材育成や農村開発、環境保全活動を展開している組織です。国内では、富士山の森づくりや学校林活動、「森のつみ木広場」など、植林及び森林整備による環境保全活動や啓発普及活動などを行っています。レオパレス21では、これらのうち学校林に関する活動を支援しています。



レオパレスリゾートグアムで行っている活動

レオパレスリゾートグアムでも、同様の環境配慮活動を行っています。連泊されるお客様のうち、シーツやパジャマなどのリネン類、タオルの交換をしなくて良いとお考えの方には、エコカード（写真）をご提示いただくことで、節水に貢献しています。



エコカード

オイスカの学校林活動について

オイスカの学校林活動は平成12年に山梨県甲府市内の中学校の学校林整備への協力をしたことが始まりです。以降、現在までに、東京都、山梨県、神奈川県、静岡県、富山県、愛知県、兵庫県、岐阜県、長野県、大阪府、青森県の22校で、学校林整備や学校林での授業等への参加協力を進めています。また、林野庁や（社）国土緑化推進機構などの共催による「学校林・遊々の森」全国子どもサミットや、フォーラムの開催を通じて学校林活動の普及に取り組んでいます。



レオパレスリゾートグアム



ホテルレオパレス旭川

社員の声

お客様と一緒に活動しています！

レオパレスホテルズではゴミ減量と環境保護支援のために、ご宿泊のお客様と一緒に『エコグリーンカード』活動を実施しています。毎回ご宿泊のたびにご協力くださっている常連様もおられ、その数も月を追うごとに増えています。私たちが大変うれしくカードを受け取らせていただいております。社会貢献はホテルとしても大きな仕事であり、それをお客様と共同で行っていることに意義を強く感じています。今後もさまざまな形でCSR活動を続けてまいります。



ホテルレオパレス博多



活動のテーマ 1

当社オフィスの環境負荷を減らす

小さな活動も継続すれば大きな効果を生み出します。オフィスにおける環境配慮活動の実践は、数値化できる成果以上に社員一人ひとりの環境意識の変化として現れつつあります。

エネルギーの節約を推進

クールビズ（冷房時の室温を 28℃）、ウォームビズ（暖房時の室温を 20℃）を全支店で実施しています。また、社有車へのステッカーの貼付や定期的な意識調査によるアイドリング・ストップも励行しています。



クールビズポスター



ウォームビズポスター

グリーン購入の推進

建築資材や備品のグリーン購入を推進しており、2010年4月現在、グリーン購入法における特定調達品目 15 品目のうち 14 品目について調達が完了しています。今後は引き続き調達率 100%を目指すとともに、特定調達品目以外の資材についても選定を進め、「グリーン調達」への移行に向けた準備を進めています。



アイドリングストップステッカー

チャレンジ25キャンペーン

「チャレンジ 25 キャンペーン」とは、「チーム・マイナス 6%」を引き継ぐ形で展開されている地球温暖化防止のための国民的運動です。オフィスや家庭などにおいて実践できる CO₂ 削減に向けた具体的な行動を「6つのチャレンジ」として提案し、その行動の実践を広く国民に呼びかけています。



レオパレス 21 はチャレンジ 25 キャンペーンに参加しています。

地球環境にやさしい社会の実現

私たちは、事業活動が地球環境に与える影響の大きさを認識し、企業活動の全域で環境負荷の低減を図り、持続可能な社会の実現を目指します。

活動のテーマ 2

当社建築物の環境負荷を減らす

私たちのアパートは、いったん建設すればその後数十年はその場所にあり続け、多くの人の住まいとして働き続けます。その責任を十分自覚し、私たちは建物の環境負荷を減らす活動に取り組んでいます。

環境負荷の低減を進めるために

当社が建築する物件では、ホルムアルデヒドを始めとしたシックハウス症候群の原因物質を極力減らすため、内装素材や設置家具の選定に十分配慮しています。また、建物基礎の配筋に、あらかじめカットした「ユニット鉄筋」を活用することで、現場加工による資材ゴミを削減しています。

環境にやさしい設備の導入やリサイクルの推進

- 節電機器
アパートの照明（白熱球）を蛍光球や LED に、備え付けの家電を節電タイプのものに順次切り替えています。
- リサイクル
使用済みアナログテレビや使用済みカーテンのリサイクルを開始しています。

- 太陽光発電
太陽光発電を取り入れた商品を開発中です。発電分を各住戸に分配し、余れば売電して入居者様の光熱費の負担を軽減できるシステムづくりを目指しています。



①太陽光発電：太陽光発電パネルを屋上に設置することで日中の電力をまかないます。②雨水の貯水タンク：200ℓ（およそ 20 分のシャワー使用量と同じ水量）を貯水できます。③保水性舗装：実用化されればヒートアイランド対策に効果があるとされる舗装技術です。

定量評価可能な実績

活動内容	実績	
	2008 年度	2009 年度
節水栓・節水型シャワーヘッドの設置	325,886 (累計)	373,760 (累計)

活動のテーマ 3

入居者様、オーナー様の環境行動を促進する

入居者様にもオーナー様にも積極的な呼びかけを図るとともに、設備面にも工夫をこらし、環境配慮活動への取り組みを着実に広げています。

入居者様の環境行動を促進するために

- 節電
エアコンのつけっ放しや消し忘れを防止するため、アパートには 3 時間で自動的に電源が切れるオリジナルの装置を設置しています。また、コンセントおよびスイッチ部分には省エネ喚起シールを貼り、節電のご協力をお願いしています。
- 節水
節水栓・節水型シャワーヘッドを新築物件に標準設置しているほか、メンテナンス時に点検し、交換が必要な場合は節水型に切り替えるなど、設置を促進しています。また、あずみ苑ではトータル節水システムを 30 施設で導入しています。（2010年3月末現在）

オーナー様の環境行動を促進するために

2008年12月には、オーナー会員組織「クラスエル」と当社が共に環境配慮活動に取り組むエコロジープロジェクト「エコ広場」を開始しました。



ガムのビーチクリーン：ビーチクリーンを終え、充実感いっぱいの笑顔で記念撮影。



省エネ喚起シール

活動のテーマ 1

コーポレート・ガバナンスと内部統制体制の充実

効率と公正、そして透明性の高さを重視した経営を通じて高い企業価値を実現することを目指し、経営体制や経営システムの整備を進めています。

効率的な経営を行うために

環境変化への機動的な対応と、迅速・適切な意思決定を可能とする経営体制を目指しています。取締役会は月1回の定例会に加え必要に応じて機動的に開催し、経営に関する重要事項の決定と業務遂行状況のチェックを行っています。また、経営会議を随時開催し、業務執行方針とその実施に関する協議を行っています。

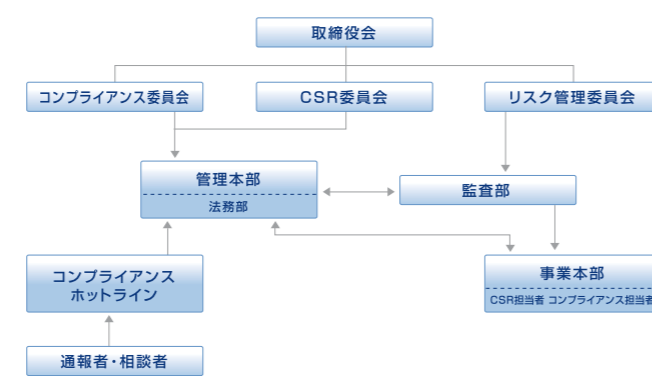
公正な経営を行うために

取締役会が行う意思決定や業務執行の内容を、監査役が監視することにより、意思決定に対する牽制機能を強化しています。具体的には、監査役会を設置し、監査役が取締役会などの重要会議への出席や業務状況の調査を通じて経営を監視しています。また、代表取締役社長の直属部署である監査部が監査役と連携して監査を行い、その結果を毎月の取締役会で報告しています。さらに、2010年4月からは監査会議を新たに設置し、適正な財務諸表の作成と法規の遵守、会社の資産の保全や事業活動の効率的な遂行を推進しています。

■コーポレート・ガバナンス体制



■CSR推進・コンプライアンス・リスク管理体制



経営の透明性を高めるために (IR活動の充実)

経営者が行う意思決定とこれを受けた事業運営の状況について、広報室を通じて内外に適時適切に開示することにより、経営の透明性を高めています。具体的には、業績開示の早期化やウェブサイト、Eメールを通じたタイムリーでわかりやすい情報開示に取り組んでいます。また、任意の情報開示の充実にも努めています。株主・個人投資家の皆様に対しては、年に2回発行している事業報告書(株主投資家通信)に加え、個人投資家向け会社説明会も実施しています。機関投資家の皆様に対しては、決算説明会の開催や個別のIRミーティングに加え、インベスターズ・ガイド(日本語版および英語版)やアニュアルレポート(英語版のみ)を発行しているほか、外国人持株比率の高さに応じた海外IRも適時実施しています。



個人投資家説明会

広報室

社員の声

双方向なIRを目標に頑張っています!

IR(投資家向け広報)チームの私たちがまず気をつけているのは、ステークホルダーの皆様が何に関心を持っているのかをきちんと理解した上で、当社としての考え方を正確にわかりやすくお伝えすることです。

この観点に立ち、2009年春には個人投資家の皆様に、そして2010年春には外国人投資家の方々に向けたIRウェブサイト、それぞれ内容を充実させてリニューアルしました。また、配布資料や説明会の内容も工夫するなど、さまざまなステークホルダーの皆様迅速かつ公平な情報発信ができるよう心がけています。今後の目標は、IRコミュニケーションをより双方向なものにしていくことです。株主・

投資家の皆様の声を社内に伝え、IRや商品・サービスの向上という形で皆様にお返ししたり、従業員にわかりやすく財務情報や経営計画等を伝えることで、企業としての一体感を作り出していったりなど、私たちができることはまだまだあると思っています。



個人投資家向けIRサイト

健全で透明性の高い事業活動

私たちは、コーポレート・ガバナンスの充実とコンプライアンスの徹底を経営の重要課題と考え、健全で透明性の高い事業活動を推進しています。



アニュアルレポート



インベスターズガイド

英文IRサイト

コンプライアンスの徹底

私たちは、法令遵守と社会倫理の遵守を企業活動の原点とし、信頼の確立やお客様の尊重などについて定めた「企業倫理憲章」の精神の浸透と徹底に力を入れています。

法令遵守を徹底するために

取締役会の諮問機関として「コンプライアンス委員会」を設置し、事業活動における関係諸法令への準拠状況を随時確認しています。また、法令違反や不正行為などを発見した場合に、社員からの相談や通報を受け付ける「コンプライアンスホットライン」を社内（法務部）および社外（弁護士事務所）に設けています。コンプライアンスホットラインは、公益通報者保護法および当社内部通報規程に則って通報者を保護するとともに、調査結果に基づく適切な対応で問題点を改善しています。2008年より受付対象範囲を拡大し、会社に対する意見も受け付けることで、「目安箱」としての役割も果たしてきました。さらに、2009年8月からは、内部通報制度の利用対象者を取引先まで拡大することで、より公正な事業活動の推進に努めています。

個人情報情報を適切に管理するために

アパートオーナーや入居者の皆様の個人情報情報を適切に管理するため、情報管理体制の強化を進めています。具体的には、コンプライアンス委員会が中心となり、管理本部長を個人情報統括責任者として、個人情報保護法をはじめ関係諸法令および当社プライバシーポリシーに基づいた適切な利用・管理を行うとともに、万一、事故が発生した場合も迅速に対応できるよう体制の整備を図っています。

コンプライアンスマニュアル・カード

当社グループの全役職員が企業倫理憲章に対する理解を深め、業務遂行において実践できるよう、企業倫理憲章に基づく行動基準を定めたコンプライアンスマニュアルを全役職員に配布し、周知徹底を図っています。また、企業倫理憲章とコンプライアンスホットラインについて記載したカードを全役職員が常に携帯しています。

教育研修

コンプライアンスの推進には、役職員一人ひとりに意識・知識を徹底することが必要かつ重要となります。当社では、社内・社外講師による集合研修をはじめ、Eラーニングによるオン・デマンド研修など定期的な研修を継続的に実施し、コンプライアンスと倫理観の更なる向上を図っています。また、四半期に1回、コンプライアンスに関する広報誌「Compliance Newsletter」を発行し、コンプライアンスに関わる各種テーマを取り上げて特集するとともに事例なども紹介し、全社員にコンプライアンス意識を徹底しています。

Eラーニング

- 第1回 「インサイダー取引」
- 第2回 「男女雇用機会均等法」
- 第3回 「パワーハラスメント」
- 第4回 「公益通報者保護法」
- 第5回 「改正道路交通法」
- 第6回 「ハラスメント」
- 第7回 「企業の社会的責任と企業倫理」
- 第8回 「個人情報保護」
- 第9回 「会社とは」
- 第10回 「消費者契約法」
- 第11回 「不正競争防止法」
- 第12回 「特定商取引法」
- 第13回 「下請法」
- 「建設業法（建設業法令遵守ガイドライン）」

Compliance Newsletter

- 第1号 「セクシャル・ハラスメント」
- 第2号 「個人情報保護法」
- 第3号 「パワーハラスメント」
- 第4号 「インサイダー取引」
- 第5号 「情報の取扱いと情報漏洩防止策」
- 第6号 「内部通報制度」
- 第7号 「内部統制について（J-SOX法）」
- 第8号 「企業の社会的責任と企業倫理」
- 第9号 「個人情報保護」
- 第10号 「新会社法について」
- 第11号 「消費者契約法」
- 第12号 「不正競争防止法」
- 第13号 「コーポレート・ガバナンス」
- 第14号 「特定商取引法」
- 第15号 「労働基準法」

コンプライアンス意識調査（モニタリング）

2008年より、全社員を対象にコンプライアンス意識調査（WEB上でのアンケート形式）を実施し、意識の定着度や各種施策の効果を計り検証分析するとともに、今後の課題を抽出し、研修をはじめとする各種施策に反映させています。

反社会的勢力への対応

当社は、企業倫理憲章に「反社会的勢力との関係の排除」を明記するとともに、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは一切関係を持たず、毅然とした対応を行っています。



コンプライアンスホットラインポスター



コンプライアンスカード



コンプライアンスマニュアル



CSRセミナー

トピックス

外部講師をお招きして本社で開催した「コンプライアンスセミナー」「CSRセミナー」で多くの役員・従業員が学びました

私たちレオパレス21が社会から認められ、必要とされる存在として成長するためには、コンプライアンスの徹底が不可欠です。事業環境が厳しい今だからこそ、役職員一人ひとりが襟を正して日々の事業活動を行うことが必要だと考えた私たちは、2009年度に、外部講師の方をお招きしての「コンプライアンスセミナー」と「CSRセミナー」を開催しました。

深山常務取締役常務執行役員のコメント

～より良い環境を構築し、業績の発展を～

コンプライアンスの意識は以前よりも高まってきていますが、我々の持っている昔の常識が社会で通用しなくなっている部分もあるでしょう。今日のセミナーで我々に欠けている部分を吸収し、これまでよりも、コンプライアンスに関心をもって実践に努めていって欲しいと思います。

宮田取締役専務執行役員のコメント

～確固たる信念を持って、環境変化に対応していく～

講師のお話で印象に残ったのは、「社会の変化を読み取る」ということ。「センチティビティ」とおっしゃっていましたが、繊細な感性で社会の変化を捉え、最終的には期待に応えていく。それが我々経営者あるいは管理職の役目であること。確固たる信念を持って、環境変化に対応していくことが生き続ける上で大切なのだと感じました。



Eラーニング「CSRと企業倫理」テキスト一例



コンプライアンスニュースレター



コンプライアンスセミナー



「一人ひとりの自覚と実践」——そう描かれたこのポスターは、私たちが 2 年前に本格的な CSR 活動に取り組みを開始した時に作ったものです。

私たちレオパレス 21 が管理させていただいているお部屋の数は、おかげさまで、今年の 3 月末で 55 万室を超えました。

55 万とは、大変大きな数字です。その一つひとつのお部屋や物件にはオーナー様や入居者様がおられます。さらに、当社を支えてくださっている株主の皆様、協力会社様や物件のご近所にお住まいの方なども含めれば、私たちレオパレス 21 にかかわる方々（ステークホルダーの皆様）の数は、数百万を超えているのではないのでしょうか。

そうした方々にとっての「レオパレス 21」とは、私たち従業員一人ひとりの姿そのものです。だからこそ、一人ひとりが日々の活動の中と CSR を一体のものとして考え行動すること、当事者意識を持つことこそが大切であると考え、私たちはこの「一人ひとりの自覚と実践」をうながす CSR 活動を目指してまいりました。

当社の CSR 活動は、まだ緒についたばかりです。しかし、その取り組みの多くは社員自身が考え、実践を続けているものであること、そしてその実践を通じて、従業員一人ひとりの胸の中に、そして私たちの企業風土の中に、CSR 意識が着実に芽吹き、育ちつつあること、それが何より重要だと考えております。

「一人ひとりの自覚と実践」——この言葉を今いちどかみしめて、私たちはこれからも CSR の実践としての事業活動を真摯に進めてまいります。

2010 年 6 月
株式会社レオパレス 21
取締役専務執行役員
CSR 総括責任者
宮田 博之



企業概要

■ 会社概要 (2010 年 4 月 1 日現在)

会社名	株式会社レオパレス 21
本社	東京都中野区本町二丁目 54 番 11 号 電話 03-5350-0001(代)
代表取締役社長	深山英世
設立	1973 年 8 月 17 日
資本金	556 億 4,066 万円
発行済株式総数	1 億 5,954 万株
事業内容	アパート・マンション・住宅等の建築・賃貸管理及び販売、 リゾート施設の開発・運営、ホテル事業、ブロードバンド 通信事業、介護事業、他
従業員	8,575 名

編集方針

本報告書では、レオパレス 21 が実施している CSR 活動を、「地域社会への貢献」「良好な職場環境の構築」「良質なサービスと豊かな暮らしの提供」「地球環境にやさしい社会の実現」「健全で透明性の高い事業活動」の各分野に分類して掲載しました。また、継続的な活動については、取り組みの状況を経年比較できるように、数値等で報告できるものはできる限り数値でお知らせしております。

- 報告対象範囲
株式会社レオパレス 21 ならびに主要連結子会社
- 報告対象期間
2009 年度 (2009 年 4 月～2010 年 3 月) の主な活動を中心にまとめていますが、一部については 2009 年度以降の継続的な活動や将来の目標も報告しています。
- 対象読者
株主・投資家、取引先、お客様、地域住民、行政機関、NPO / NGO、社員といったあらゆるステークホルダーを対象読者として想定しています。
- 発行年月および次回発行予定
2010 年 6 月発行。
次回は 2011 年 6 月の発行を予定しています。
- CSR レポートに関するお問い合わせ先
株式会社レオパレス 21 CSR 委員会事務局
E-mail : csr@leopalace21.ne.jp
FAX : 03-5350-0165